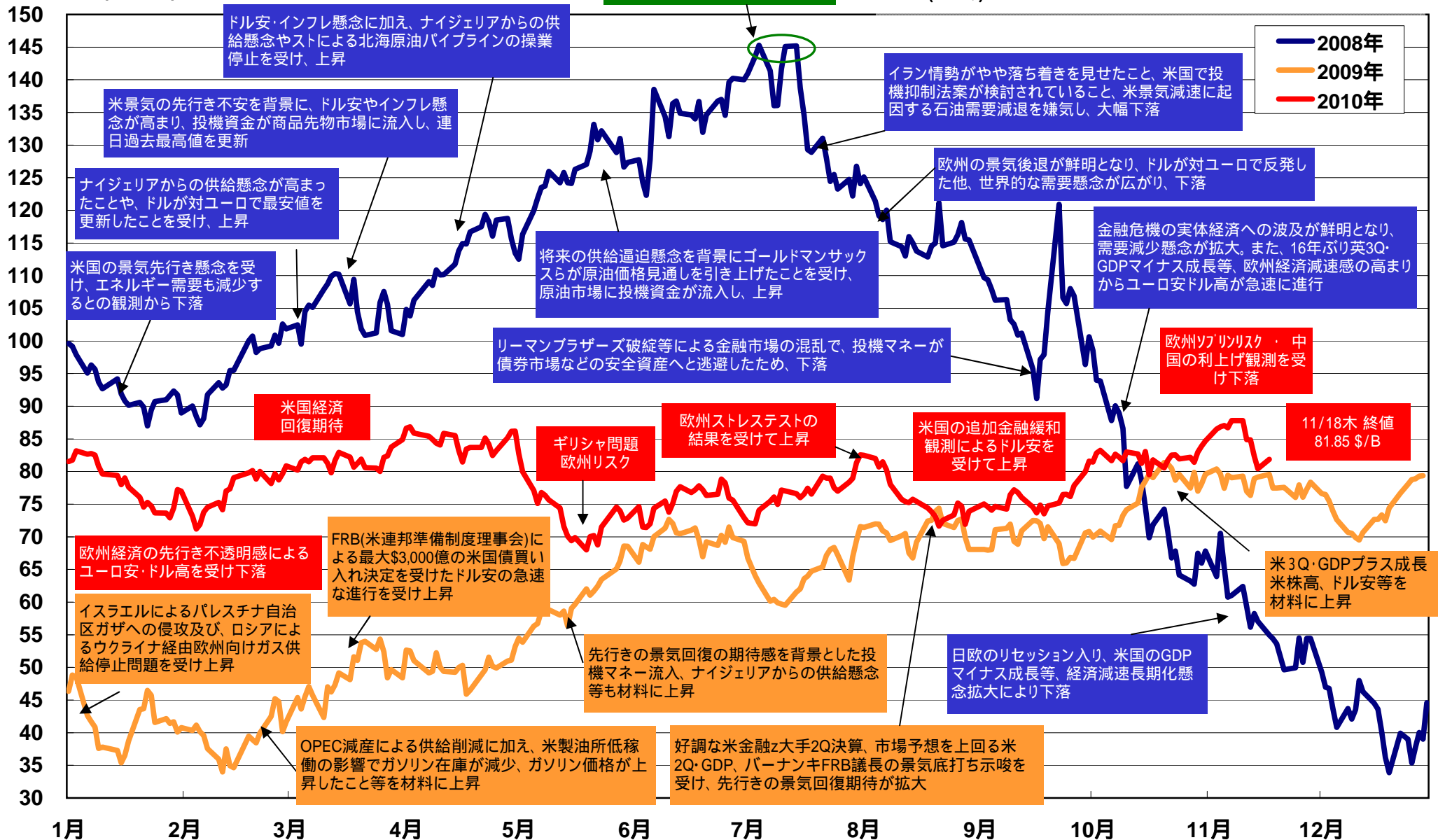


WTI原油価格推移(2008~2010)

価格(\$/BBL)

2008年最高値
瞬間ベース:\$147.27 (7/11)
終値ベース:\$145.29 (7/3)

<参考>	10年8月	10年9月	10年10月
WTI(\$/B)	76.68	75.55	81.97
為替(円/\$)	85.50	84.35	81.93



ドル安・インフレ懸念に加え、ナイジェリアからの供給懸念やストによる北海原油パイプラインの操業停止を受け、上昇

米景気の先行き不安を背景に、ドル安やインフレ懸念が高まり、投機資金が商品先物市場に流入し、連日過去最高値を更新

ナイジェリアからの供給懸念が高まったことや、ドルが対ユーロで最安値を更新したことを受け、上昇

米国の景気先行き懸念を受け、エネルギー需要も減少するとの観測から下落

将来の供給逼迫懸念を背景にゴールドマンサックスらが原油価格見通しを引き上げたことを受け、原油市場に投機資金が流入し、上昇

リーマンブラザーズ破綻等による金融市場の混乱で、投機マネーが債券市場などの安全資産へと逃避したため、下落

イラン情勢がやや落ち着きを見せたこと、米国で投機抑制法案が検討されていること、米景気減速に起因する石油需要減退を嫌し、大幅下落

欧州の景気後退が鮮明となり、ドルが対ユーロで反発した他、世界的な需要懸念が広がり、下落

金融危機の実体経済への波及が鮮明となり、需要減少懸念が拡大。また、16年ぶり英3Q・GDPマイナス成長等、欧州経済減速感の高まりからユーロ安ドル高が急速に進行

欧州ソブリンリスク・中国の利上げ観測を受け下落

米国経済回復期待

ギリシャ問題 欧州リスク

欧州ストレステストの結果を受けて上昇

米国の追加金融緩和観測によるドル安を受けて上昇

11/18木 終値 81.85 \$/B

欧州経済の先行き不透明感によるユーロ安・ドル高を受け下落

FRB(米連邦準備制度理事会)による最大\$3,000億の米国債買い入れ決定を受けたドル安の急速な進行を受け上昇

イスラエルによるパレスチナ自治区ガザへの侵攻及び、ロシアによるウクライナ経由欧州向けガス供給停止問題を受け上昇

先行きの景気回復の期待感を背景とした投機マネー流入、ナイジェリアからの供給懸念等も材料に上昇

日欧のリセッション入り、米国のGDPマイナス成長等、経済減速長期化懸念拡大により下落

米3Q・GDPプラス成長 米株高、ドル安等を材料に上昇

OPEC減産による供給削減に加え、米製油所低稼働の影響でガソリン在庫が減少、ガソリン価格が上昇したこと等を材料に上昇

好調な米金融大手2Q決算、市場予想を上回る米2Q・GDP、バーナンキFRB議長の景気底打ち示唆を受け、先行きの景気回復期待が拡大